

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和6年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立東林ふれあいセンター
指定管理者名	ヤオキン商事株式会社
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例
施設の設置目的	市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与するための施設 (相模原市立ふれあいセンター条例第2条)
施設概要	所在地：相模原市南区東林間1丁目22番17号（林間公園内） 構造：鉄骨造2階建 建築面積：680㎡ 延床面積：1,245㎡
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
利用者数合計（人）	374	16,296	32,657	47,845	50,183		
利用料金合計（円）	15,675	873,550	1,342,802	1,674,525	1,824,865		

※令和2年度は令和2年4月1日～令和3年1月3日、1月8日～3月21日で休所（開所14日間）

※令和3年度は令和3年8月6日～9月30日で休所（開所300日間）

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	成果指標の達成度は81.6%となり、評価基準により「C」評価とする。 令和5年度までと比較して実績値は上昇したが、目標値には達しなかった。引き続き、広報活動等により施設の利用促進が行われることを期待する。

指標	
指標名（%）	施設利用率（夜間を除く）
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数÷専用利用申し込み可能件数（夜間を除く）

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（%）	84.0	84.0	80.0	80.0	81.0	81.0	82.0
実績値（%）	17.3	49.3	61.3	65.8	66.1		
達成度（%）	20.6%	58.7%	76.6%	82.3%	81.6%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	・事業の達成度は109.3%となり、評価基準により「A」評価とする。 ・「東林ふれあい市」は、前年度と比較して参加団体が増加し、利用団体と地域の交流機会の拡大がより一層図られた。 ・企画提案事業では、年度途中に内容のリニューアルを行った事業や、定員を超える参加を得た事業が複数あり、利用者の意見を取り入れながら事業を展開するとともに、施設の活性化が図られたことを評価する。

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【高齢者の福祉の向上を図る事業】 ふれあいサロン 脳トレ体操	4月～3月	カラオケ機器を用いて、健康体操や脳トレなどのプログラムを提供した。事前受付なし、当日参加制。 10月からは地域の要望を受け「相模原版いきいき百歳体操」を取り入れ、運動習慣の定着に寄与した。 全42回 931人参加（定員840人）	◎
【市民の健康の保持及び増進を図る事業】 声に出して読む教科書	10月～3月	戦前から現在までの小・中・高校の音楽の教科書を教材として、合唱事業を開催した。事前申込・当日申込が可。楽譜は読めなくともメロディを覚えており、音楽の知識が浅い方も気軽に参加でき、毎回定員を超える応募があった。 全6回 256人参加（定員180人）	◎
【公園内に位置する施設の立地条件を活かした事業】 星を見る会	8・12月	安全対策を講じた上で駐車場ならびに屋上にて実施した。プラネタリウム解説員や地域の天体ボランティア協力のもと、未就学児から高齢者までの幅広い年代が集まり交流を深めるなかで、自分が住むまちの空の観測を楽しんでいた。 全2回 21組参加（定員30組）	○
【地域の世代間交流を促進する事業】 防災関連事業	3月	「楽しい遊びのなかで防災を学ぶ」をテーマに開催した。起震車・水消火器体験、担架レース、防災クイズやすごろく、防災食試食、ドローンデモンストレーション等、堅苦しく捉えられがちな防災知識を体験していただいた。3月の期間中は過去相模原市や他自治体で発生した災害の写真展示のほか、防災食レシビや非常時への備えに関する冊子を配布し、防災に対する関心を高めた。 防災フェスティバル：847人来場	○
ミニコミ誌の発行	4月～3月	館内をはじめ、市関連施設や自治会、取材先等に配布。センター事業やそれに関連した特集などを掲載した。 毎月発行 年発行部数17,000部（月1,500部。5月は自治会配布なしのため500部）。	◎

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
【地域の世代間交流を促進する事業】 おはなし会	4月～3月	令和6年度から、地域のよみきかせボランティア団体「おはなしのポケット」と協力し開催。3冊程度の読み聞かせと、季節の行事に合わせた工作を行う。林間公園での呼び込みの際に「初めて施設に入った」という保護者もあり、その後のキッズスペース利用促進に繋がった。 全12回 165人参加（定員180人）	◎
【市民の健康の保持及び増進を図る事業】 小児救命事業	3月	日本赤十字社を講師として、乳幼児と小児の救命について学ぶ講座。参加人数は奮わなかったものの、人形を使用した実技中心の講座の満足度は高く、講座終了後も熱心に質問する姿が見受けられた。 4人参加（定員15人）	△
【地域の世代間交流を促進する事業】 東林ふれあい市	5月	近隣地域の方や日頃センターを利用される方の交流を目的として、高齢者登録団体、一般団体、地域の障害者団体等が展示・発表・販売を行った。初年度と比べ5団体の参加が増え、それぞれの練習成果発表の場となった。販売作品や展示（5月いっぱい展示）を通して制作者や一緒に訪れた家族や友人との交流が見受けられた。 来場者数：延べ2,002人	◎

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	達成度は111.1%となり、評価基準により「S」評価とする。令和6年度は、実績値が100%となり、高い利用者満足度を得ていることを評価する。引き続き、高い満足度を得られるよう施設運営が行われることを期待する。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査 実施期間：令和6年11月12日（火）～12月28日（土） 回答数：711件
目標値の基準	全体的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の回答割合

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	-	98.3	98.7	99.5	100.0		
達成度（%）	-	109.2%	109.7%	110.6%	111.1%		

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	1・2階にお客様からのご意見箱を設置。いただいたご意見・要望は風除室掲示板に返答と今後の対応を添えて貼り出した。
講座アンケートの実施	通年	講座アンケートを作成・配布。アンケート結果を基に、講座内容や実施時間の変更、難易度別のコース分け等に反映した。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	施設においては、本体事業収支、全体終始ともに黒字であり、法人の経営状況においても特段の課題がないことから、評価基準により「S」評価とする。

施設の収支概要		(千円)		
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入（a）		41,879	40,841	41,107
指定管理料		37,269	36,279	36,534
利用料金収入		1,343	1,675	1,825
その他の収入		3,267	2,887	2,748
支出（b）		41,633	40,770	41,099
人件費		22,111	21,941	21,903
本社管理経費		610	624	426
その他の支出		18,912	18,205	18,770
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		246	71	8
自主事業収入（d）		203	313	560
自主事業支出（e）		31	189	219
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		172	124	341
全体収支 【(c)+(f)】		418	195	349
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施	
実施時期	令和7年1月17日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	加点事由あり
人員配置・地元活用	適正に実施	加点事由あり
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	全ての開館時間において正規職員を配置しているほか、専門的な資格・技術・経験を有する人材を育成するための研修受講や、実際の状況を想定した緊急時の対応に関する訓練を行っており、利用者の安心・安全や満足度の向上に寄与していることから加点対象とする。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	リンクを貼る場合「外部リンク」表記を行っている。

9 指定管理者の自己評価

- ・受託3年目は地域のイベント協力やセンター広報紙の取材、地域ケア会議参加等をととして、地域団体との連携強化に努めた。センター主催イベントにおいて参加・ご協力いただくなど、良い関係を構築しつつある。
- ・事業においては過去2年間の実績や傾向をふまえ、事業の追加や開催時間変更等を行い、お客様のニーズ把握とその反映を行った。次年度においても引き続き定期的なリニューアルを行うほか、より地域の幅広い世代に必要とされる施設となるよう、他施設や地域団体と連携したイベント事業等を計画していきたい。
- ・設備面において空調機器やトイレ・給湯器等の経年劣化による故障が相次ぎ、都度の修繕を行った。残る懸念箇所の状態を取り纏め、次年度以降も早めの応急処置や修繕を実施していく。

10 所管課意見

- ・令和5年度から実施している「東林ふれあい市」や防災関連事業といった大型イベントを令和6年度も開催し、利用団体と地域の交流促進や施設の認知度向上を図ったことを評価する。
- ・企画提案事業は、新たな事業の展開のほか、既存の事業について、参加者のニーズに合わせて内容のリニューアルや実施時刻の変更を行うなど、様々な工夫を重ねながら積極的に施設運営を行ったことを評価する。
- ・今後も、施設の特性を十分に生かし、幅広い世代に対して魅力のある事業を展開するとともに、地域との連携や広報活動により、施設の利用促進を図ることを期待する。

11 選考委員会意見

- ・総合評価は令和5年度と同様に「A」評価であったが、成果指標の達成度や利用者満足度は年々向上しており、施設の運営に対して努力していると評価する。
- ・企画提案事業や自主事業について、様々な工夫が見受けられ、PDCAサイクルも上手く循環している。今後も引き続き新しいアイデアを取り入れた事業が展開されることを期待する。
- ・利用者満足度調査では、施設の総合的な満足度において「満足」と「やや満足」の回答割合が100%となり、利用者から高い満足度を得ていると評価する。しかしながら未記入も多くあり意見を掘り起こせるような工夫が欲しい。
- ・ミニコミ紙「わくわく」を読んで来訪したとの声が多くあり、発行部数を増やし回覧板などを活用した成果が現れてきたと推測する。身近な買い物先（スーパーやドラッグストア）での配架などを検討し、更なる周知を図って欲しい。
- ・「施設設備カルテ」を活用し、施設の不具合の状況を職員間で共有することは、良い取組であると考える。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

